

# 住宅改修・事例紹介 8

はんどで施工した事例をご紹介します。  
ぜひ、参考資料としてお役立て下さい。



## 屋内の移動を安全に

このようなことでお困りでした

若い頃にくらべると手の力も弱くなり、腰を浮かせることが困難になっています。そのため、いざって移動する際の摩擦が大きく、臀部に床ずれができてなかなか治らない状況です。特に敷居やレールの段差があるところでは、臀部にあたって痛い思いをしています。『**段差をなくして、スムーズに移動できるようにしてほしい**』とご相談いただきました。



I 様 (男性) 70 代  
要介護 3

進行性筋ジストロフィーのため、立ち上がりや立位保持、歩行ができずいざって移動されます。

## Before & After



移動時に、少しの敷居段差とレールに引っ掛かっていたので、それらを撤去し建具を吊り戸に変更することでバリアフリーになりました。



通常の引き手  
(床から約 80cm)

いざって移動する I 様が開閉しやすいように、低い位置に大きい取っ手をつけました。



引き違いのガラス戸は重くて開閉が難しかったので、アクリル素材のワーロン板で窓を作った軽い建具に変更しました。

### POINT

吊り戸とは、上枠から戸を吊り下げ、横に引いて開閉する戸のことです。下枠(敷居)が不要なので、バリアフリーに適しています。また、戸を吊り下げることによって、建具の重量を感じる事なくスムーズに開閉できるので、力の弱い方や開閉時にバランスを崩しやすい方にもオススメです。

### 施工後の感想

敷居段差やレールがなくなり、おしりの痛みもやわらぎました。重たかったガラス戸を軽いものに取り替え、持ちやすい高さの取っ手まで付けていただいたので開閉が楽になりました!

